

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山形県立酒田光陵高等学校（山形県）【指定校】

【取組内容⑤】 ICTの教育利活用・校務DX推進に向けた光陵DXプロジェクトミーティングの定期開催

◆ 目的

- 情報科を中心に進めてきたICT教育利用や校務DX化を学校全体への普及を目指し、普通科・工業科・商業科でもICTを「毎日」活用することで授業の充実を目指す

◆ 実施内容

- 「光陵DXプロジェクト」の実施
 - 各教科・各学科より一名以上、ICT利活用を積極的に推進するメンバーを選出
 - 月1回のミーティング(研修会・勉強会など)の実施
 - バズセッション方式で、各先生方のICT利活用についての情報共有や悩みがある先生方の課題解決を行う
 - 研修は、外部で行われた研修会の報告を中心に、持ち回りで実施した(負担感の軽減)
 - ミーティング内容をICT利活用例として、全職員に公開する
→すべての先生方に対して強制感のある研修などを行うのではなく、できる人・やりたい人から広げていく

◆ 研修テーマ

日時	テーマ
5月15日	校務でのICT活用・職員会議への提言
6月20日	生成AIの使い方～プロンプトエンジニアリング
7月12日	ICTを活用した事例の報告と共有
9月11日	GoogleWorkSpacePlus研修
10月 4日	ICTの利活用についての情報共有
11月15日	リーディングDX公開授業に向けた研修会
12月12日	デジタルホワイトボードの利用と活用研修
1月21日	授業動画作成 研修



ICTを活用した事例の報告&共有

- プロジェクタを使い、帳簿を黒板に投影し、そこにチョークで書き加える（SKM）。
- 出題資料を生徒とGoogleドキュメントで共有して、添削を行った（SKM）。
- 小論文指導のやり取りについて、Googleドキュメントを使って添削した（CH）。
- 授業でGoogleフォームを使って回答したもの（スプレッドシート）を生徒名をわからないようにして生徒に共有した（CH）。
- 質問の一致を手書きではなく、Googleフォームを使ってまとめた（CH）。
- 授業でChatGPTを利用。プロンプトにひらがなで数式を入力すると数式やグラフを作成してくれる（TS）。
- 異なる教科間でClassroomを使って情報共有（CH）。

◆ 成果と課題

- これまで事例紹介が中心だった研修が、バズセッションのミーティングにより先生方の困り所を知るとともに、課題解決することでより前向きにICTの活用が進んだ。
- 全体への普及はまだまだである。無理強いをせず地道に取り組んでいく。